

TAKE
FREE

2025年 新春号

vol. 84

向陽台病院の健康情報誌「こもれび」

KOMOREBI



Contents

[病気のおはなし]

依存症シリーズ 3
「薬物依存症」

[特集]

ゲームを取り上げない
おふらいんきゃんぷ

[リレーエッセイ]

地域連携部地域連携科 主任
精神保健福祉士 赤星真紀

[向陽台 PICK UP]

こんなところで活躍してます
～レクリエーション委員会の紹介～

[連携機関]

医療法人社団松本会 希望ヶ丘病院
副院長 杉本啓介 先生

[院内学級ひかり]

OnPal
クリスマスコンサート

依存症シリーズ 3

● 今回教えてくれた先生

副院長

武藤岳夫先生

(精神保健指定医)

薬物依存症

「ダメ。ゼツタイ。」だけではだめ、絶対。

「薬物」と聞くと大麻など違法薬物を思い浮かべる方も多いかもしれませんが、意外と身の回りにも多くあります。依存症シリーズ最終回は、身近にある薬物の依存に関するお話です。



「ダメ。ゼツタイ。」の限界

薬物乱用防止のスローガンとして、多くの方が耳にしたことがあると思います。わが国で乱用される薬物は、覚醒剤をはじめとしてその多くが法律で規制されているため、薬物乱用は基本的に司法の対象（犯罪）として捉えられることが中心でした。乱用者が急増しているとされる大麻についても、2024年12月から「施用（使用）罪」が新たに設けられ、規制強化の方向にシフトしています。

しかし近年、いわゆる処方薬や市販薬、エナジードリンクなど、「捕まらない薬物」の乱用問題も次第に大きくなっていると言われ、薬物依存の臨床現場でもその傾向は顕著となっており、これらは「ダメ。ゼツタイ。」だけでは対処できません。

依存症シリーズの3回目となる今回のテーマは薬物依存症ですが、あえて違法薬物ではなく、より身近な「捕まらない薬物」の問題を中心に紹介したいと思います。

処方薬

医師が処方する薬の中にも依存性が強いものがあります。代表的なものは、睡眠薬や抗不安薬、鎮痛薬、下剤などです。用法・用量を守っていただければ、基本的には安全なお薬が多いのですが、漫然と飲み続けていると、次第に同じ量では効かなくなります。また、眠れないからと何錠もまとめて飲んだり、イライラするたびに飲んだり、といった飲み方は薬物乱用にあたりますので、注意しましょう。

たくさん飲まないで効かなくなっている方は、すでに依存症となっている可能性が高いです。この状態でお薬を急にやめると、全身の震えや、強い不安、けいれん発作など、激しい離脱症状が生じることがありますので、やめたい、減らしたいというときは自分で判断せず、必ず主治医に相談してください。

市販薬

国の政策の一環として「セルフメディケーション」が推進され、ドラッグストア店舗数の急増や、ネット販売の普及も相まって、以前に比べ市販薬はかなり購入しやすくなっています。皆さんの中には、市販薬は医師が処方する薬に比べて「安全」、「成分が弱い」と思っている方はいませんか？

確かにほとんどの市販薬はそうなのですが、一部のかぜ薬や咳止め薬などには、一剤で多くの効果を得るために、依存性の高いものも含んださまざまな成分が入っています。これらを多量に服用することで、「やる気が出る」「ハッピーな気持ちになれる」などの情報がSNSなどで共有されているようですが、こうした使い方は依存症となるリスクが高いだけでなく、幻覚や錯乱状態を引き起こす可能性があります。非常に危険です（多くのかぜ薬にはカフェインも多く含まれており、後述するカフェイン中毒の危険もあります）。全国精神科医療機関を対象とした実態調査では、薬物関連問題で受診する10代の患者のうち、およそ7割が市販薬の問題であったという調査結果も出ており、若年層を中心に市販薬乱用の問題が大きくなってきていることがうかがえます。

エナジードリンクなど カフェイン含有飲料

エナジードリンクなどに含まれるカフェインは、神経を興奮させ、眠気を防いだり集中力を高めたりする作用があり、試験勉強の眠気覚ましやスポーツの試合前などに飲む人が増えているようです。一方で、過剰に摂取すると、頭痛、めまい、動悸、吐き気、下痢などの中毒症状を引き起こし、場合によっては命に関わることもあります。図1は、主な飲料に含まれるカフェイン量を示したものです。エナジードリンクは、甘味や炭酸が加えられジュース

1 研修を行いました 第6回くまもと子どものこころ研修会

- 講師：菊地 祐子 先生
(神奈川県立精神医療センター 思春期精神科/連携サポートセンター長)
- 演題：傷ついた心と向き合うということ
- 座長：比江島 誠人(向陽台病院 院長)

2 学会準備、本格始動!

「第47回 日本アルコール関連問題学会 熊本大会」の準備が本格的にスタートしました。全国の先生方のお力を借りながら、準備を進めてまいります。

- 会期：2025年9月5日(金)、6日(土)
- 会場：市民会館シアーズホーム夢ホール
(熊本市市民会館)
- 大会長：比江島 誠人(向陽台病院 院長)



第47回日本アルコール関連問題学会
公式ホームページ

3 救急病棟の疾患別割合 (2024年9月~11月)

アルコール・物質依存症の方が増え、気分障害の方が減っています。

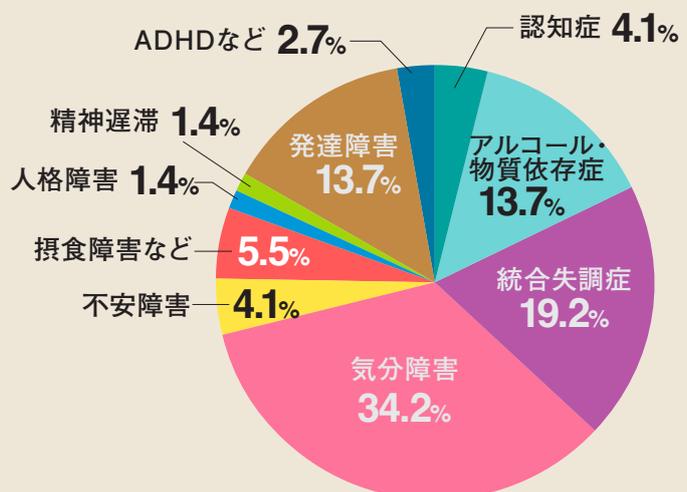


図1.主な飲料に含まれるカフェイン量

| 飲料 | 100mlあたりに含まれるカフェイン量 |
|----------|---------------------|
| エナジードリンク | 32~300mg |
| ウーロン茶・緑茶 | 20mg |
| 紅茶 | 30mg |
| コーヒー | 60mg |

感覚で飲んでしまうため過剰摂取となりやすく、特に注意が必要です。また、子どもはより少ない量でカフェイン中毒を起こしやすいため、飲用は極力控えましょう。

薬物依存症とその回復について

薬物乱用の恐ろしさは、前述のような影響ももちろんですが、いざやめたいと思った時にやめられないという状態になり、それが周りも自分でも気づかないまま進行してしまうところにあります。これが薬物依存症であり、違法、合法の区別なく起こります。これらの症状は、その人の意志の強さや性格などとは関係がありません。また、薬物依存症になる人の中には、普段の生活の中で居場所のなさや孤立感、自分に自信が持てなかったり相手に過度に合わせてしまったり、といった生きづらさを抱え、いわば自己治療として薬物乱用を始めてしまう方が多いことが知られています。

薬物依存症の治療として、最近は認知行動療法という治療法をベースとした外来プログラムが全国に普及し、熊本でも当院をはじめ複数の機関で実施されています。しかし、依存症からの回復は、まず自分の辛さや思いを正直に話すことから始まります。当院は、県内で唯一の薬物依存症の専門医療機関です。一人で悩まずに、まずは相談してみませんか。



熊本県ホームページ
「依存症に関する相談」



当院依存症治療の
ご案内



ゲームを取り上げない おふらいんきゃんぷ。



●南3病棟 看護師長 村井 真理子 ●臨床心理部 主任 辻 翔太

わくわく特化型キャンプ

9月14日と15日に開催された『おふらいんきゃんぷ@くまもと2024』がRKKのニュースや熊本日日新聞で取り上げられました(向陽台病院HPのお知らせ欄にリンクを貼っています)。2回目の取り組みとなる今年は、希望ヶ丘病院と共同開催し参加者も昨年の13人から20人へと増えるなどパワーアップしました。

『おふらいんきゃんぷ』に参加すれば、ゲームやネットがもたらす害や、ルールを守ることの大切さを気付かせてくれるのではないかと、そんな期待をもつ方もいることでしょう。ところがこのキャンプではゲームやネットの遊び方について取り扱うことはしません。「君たちゲームをやりすぎちゃあいけないぜ」なんて一言も言わないのです。むしろ「それを言っちゃあ、野暮よ」と思っていたりします。子どもたちからゲームを取り上げるのではなく、リアルを楽しむことに特化したキャンプにしたいと思うからです。結果的に子どもたちが、自分にも居場所があるのだと気づき、「リアルも捨てたものじゃないな」と思ってくれたら良いなと思います。



そのために、一般的に企画されるキャンプよりもスタッフを多く配置し、一人ひとり、十分に大人の目が行き届くようになっていきます。また、学生や阿蘇青少年交流の家に登録している法人ボランティアが頼れるお兄さん、お姉さんとして子どもにも寄り添ってくれます。企画には、創意工夫を凝らして絶対にビックリさせてやろうと大人が本気を出して考えています。今回はキャンプの中身についてご紹介したいと思います。

を救うべく、意地悪なボスの試練を乗り越えながら阿蘇の大自然を冒険(散策)します。例えばボスの一人『万歩計ダイマジン』の試練は一筋縄ではいきません。一人ずつ万歩計を身に着けるよう指示されると、合計1000歩になるまで駆け足をするように命じられます。チーム一丸とならなければクリアのできない試練や知恵をフル動員しなくてはいけない謎解きもあります。頭と体をめいっぱい使って王様を助け出し褒美を得ることができました。

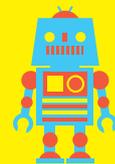


クリアできるか、リアル脱出ゲーム

リアル脱出ゲームとは参加者一人ひとりが物語の主人公となり、チームで協力して試練を乗り越え、謎を解き明かしてストーリーの解決を目指す体験型のイベントです。今年のテーマは、『きのこ王国を救え!』。元気ナイナイ病を患った王様

スモアと焚き火と甘いヒゲ

すっかり日が落ちて真っ暗な夜道を、懐中電灯で照らしながらたき火会場へ向かいます。リアル脱出ゲームできのこ王国を救った褒美として、王様からマシュマロとクラッカーが入った宝箱を受け取りました。広場にたき火を用意し、子どもたちに点火してもらおうと準備万端。マシュマロ



の焼き方のレクチャーを受けると、みんな我先にとマシュマロを焼き始めました。外は香ばしく、中はじゅわ〜とろ〜っとした甘い甘いマシュマロに「おいし〜」「あま〜い」と声があがります。そんなマシュマロをクラッカーで挟んでおしゃれなスモアに。甘さと塩味の絶妙なバランスが最高！口の周りに白いヒゲを生やしたまま何度もおかわりし、「マシュマロはちょっと苦手…」と乗り気でなかった子までもが笑顔に。大人でも焼きマシュマロが初めての人も多く、焚き火を囲みながらみんなが笑顔の時間でした。

満天☆青空レストラン

2日目のメインはカレー作り。作業工程が多いので、道具の準備、お米の洗い方、にんじんやじゃがいもの切り方など、工程表をラミネートして用意しました。子どもたちはぎこちない手つきでピーラーや包丁を持ち、作業を進めていきます。スタッフはつい手や口を出したくなりますが、工程表を読み込み集中している姿を見てぐっとこらえます。完成したカレーに誰もが満足げな表情。カレーはやっぱり美味しいけれど、みんなで協力して作りあげたカレー、外で食べるカレーは一層格別で「おいしいー！」の大合唱。あちこちで「おかわり」の声もあがり、違う班のカレーも味見しながらあっという間に完食してしまいました。

NO GAME, NO LIFE. NO REAL, NO LIFE.

去年よりパワーアップしたおふらいんきゃんぷでしたが、終了後のアンケートには全員が『安心して過ごせた』と回答してくれました。安心・安全は生活の基盤です。子どもたちがそれを感じとって「楽しかったな」「人と関わるも悪くないかも」「また来年も行ってみようかな」なんて思ってくれたなら、このきゃんぷは大成功です。その体験を共有できたことはスタッフにとっても有意義な時間でしたし、子どもたちにとっての安心・安全な場所が一つでも増えていくといいなと願っています。

次はどんなおふらいんきゃんぷになるのか。みなさんも、ネットやゲームの世界もいいけれど、大自然の中でリアルでステキな時間を過ごしてみませんか？



スタッフ見習いロボットの「ハル」くん。今日は、「地域連携室」にお邪魔して新患予約から受診までの流れを教えてもらっているようですよ。指導係の「ひなた」さんも隣で見守っています。

ブルルル…「はい、地域連携室です！新患のご予約ですか？」

ハルくん わー！電話がずっとなっている。

相談員さん ここは入院や初診の予約を受け付ける窓口なの。診察を希望する方が多いので、「初診予約期間」にお電話をいただいて翌月、翌々月の予約を受け付けているのよ。初診予約の日にはホームページで確認できるわ。

ハルくん そうなんだ〜。受診を希望する方ってそんなに多いんだね。

相談員さん 予約枠がすぐに埋まってしまうので心苦しいんだけど、依存症治療の方や急を要する入院相談の方は別途対応しているのよ。

ひなたさん 初診の予約が取れたら、その後はどんな流れなのかしら？

相談員さん 初めての受診はドキドキしますよね。事前にホームページから問診票やチェックリストをダウンロードして記入して持ってきてもらうとスムーズです。

<当日もってくるもの>

紹介状、マイナンバーカードか健康保険証、検査結果など（心理検査、頭部画像検査、血液・尿検査）、18歳までの方は母子手帳・通知表、各種医療費受給者証、コンサータカード（服用中の方）

当日は精神保健福祉士や心理士が先にお話を伺い、その後医師の診察という流れなんですよ。必要に応じて検査などもあるので、時間に余裕を持って来ていただくようお願いしているんです。

ハルくん ひなたさん 教えてくれてありがとう！少しでも不安なく診療を受けてもらえるよう、僕たちも準備をしておく必要があるね。



初診予約専用ダイヤル
(初診予約受付期間のみ)

096-272-0908

ワクワクすること

●地域連携部地域連携科 主任／精神保健福祉士 赤星 真紀



私の初めての就職先は、平成ではあったけど昭和感満載の会社だった。朝9時、上司や先輩社員にお茶を配る。それぞれの湯呑みがあって誰の湯呑みか必死で覚えた。そして10時半、昼のお弁当注文を聞いて回る。「いつものやつ」と言われるので、それぞれの「いつものやつ」を必死で覚えた。お弁当注文が終わるとお弁当を集めて回る。その時に「タバコをお願い」とおつかいを頼まれる。その当時はいつでもどこでも喫煙可で、隣や前のデスクで上司や先輩がプカプカとタバコを吸いながら仕事をしていた。今では信じられない光景だし、ほぼほぼハラスメント案件で完全にアウトだ。だけど当時は「ハラスメント」という言葉は存在しなかった。だから誰の湯呑みか、いつものお弁当が何か、上司や先輩のタバコの銘柄を必死で覚えた。それから世の中は変わり、信じられないほど変化した。

スマホも大きな変化の一つ。私の家は私が高校1年ぐらいまでダイヤル式の黒電話だった。青春時代、男子からの電話をめぐって父娘の闘いがあった。不運にも父が取ると、半径2m以内に私がいるのに「いません」と無惨にも切られる。だから電話をする時間をあらかじめ決めておいて、その時間には近くで待機、鳴ると同時に走っ

た。でも話せるわけがない、後ろに用もないのにウロウロしている父の気配を感じるのだから……。あれは本当にイライラしたし、ムカついた。黒電話から子機つきの新しい電話になったときは歓喜した。それが今ではスマホ!あの頃のことを思うと本当に信じられない。これらの、ほんのちょっとのエピソードでも大きな変化で、私が10代20代の頃に今の世の中を想像することはできなかった。まるで映画で観ていた近未来、ファンタジーの世界に近い。

ハラスメントだらけの会社にいた私が、今は病院で働いている。これも全く想像していなかった。そして私にはアイドルの推しがいる。学生時代には全く興味がなかったアイドルの世界、知らなかった推し活の世界を必死に学んでいる。すごく楽しい。これも想像していなかった。

そう考えると、これからきっと想像できないほどの、信じられない未来になるはずで、それはとてもワクワクする。最近、歳を重ね衰えを感じうちひしがれ、怖かったり、すごく嫌だと感じたりする。だけど、ワクワクを探して、ワクワクを見つけて、想像したことのない未来の景色を見るために!!!がんばって生きていく。

向陽台 PICK UP

こんなところで活躍してます ～レクリエーション委員会の紹介～

●レクリエーション委員会委員長
岩永 知寛 (作業療法科 主任)

10月、熊精協主催のくませいフェスタ、熊本市・熊本市精神科病院会共催スポーツ大会(以下、スポーツ大会)に当院デイケア利用者が参加しました。くませいフェスタはe-Sports、スポーツ大会はポッチャを競技種目に熱戦が繰り広げられました。ポッチャでは、中級トーナメントで見事優勝を勝ち取りました。当院が所属している団体のイベントに、患者・利用者と一緒に参加したり、イベント運営を協力したりしているのがレクリエーション委員会(通称:レク委員会)です。

過去を振り返ってみると、院外では城北大会・鹿本スポレク大会、院内では文化祭、クリスマス会、敬老会、新年会などを思い出しました。イベント名を聞いて懐かしいと共感してもらえるであろうスタッフの顔がたくさん浮かびます。横田会の歴史に残る数々のイベントの一部を支えている委員会です。



現在は、院内イベントを各病棟単位での企画にシフトし、冒頭2つのイベントを軸に活動しています。昨年度はくませいフェスタの県北ブロック代表を、今年度はスポーツ大会の大会運営を担当し、委員メンバーで協力し大きな役割を果たすことができました。

このような役割を担いながらも、イベントへの参加は「治療の一場面」であることを共通認識し、委員会目標に掲げています。参加する患者・利用者が楽しみながらも治療として院外に出向く機会であることを心がけて関わっています。

所属団体との連携、患者・利用者の治療場面提供という2つの側面をもつのがレク委員の特色です。これからもレク委員として楽しみながら取り組んでいきます。



連携機関

このコーナーでは、向陽台病院の連携医療機関の先生や関連施設の方にご登場いただきます。

第22回



医療法人社団松本会 希望ヶ丘病院

副院長 杉本啓介 先生

ともに歩んだ61年の歴史

「熊本県の精神科地域医療に貢献し発展させていこう」という当院と向陽台病院初代院長たちの熱い志から歴史の1ページが始まりました。病院建設の土地探しも一緒にされたようで、県北部と南部となる現在の場所に決定し、1963(昭和38)年に設立されたと聞き及んでおります。それぞれに異なる特色を持ちながらも、共通する使命として『地域に根差した精神医療の提供』を掲げ地域住民の健康と福祉の向上に努めてきました。現在では児童思春期の精神医療を担う県内でも数少ない医療機関でもあります。

神経発達症や不登校、引きこもり、虐待、最近ではインターネット依存などさまざまな問題への対応が必要とされています。当院では2014(平成26)年11月からインターネット依存の診療を行っておりますが、何か足りないものを感じておりました。

2024(令和6)年9月14~15日に『第2回おふらいんキャンプ』が開催されるということで、当院も参加させていただきました。実際に参加してみた感想として、1泊2日という短い期間ながらも濃厚なプログラムが練り込まれており、子どもたちははつらつとした姿を見て、この体験が大事なんだと改めて感じました。子どもたちから我々スタッフも元気を分けてもらったような気がします。準備に携わったスタッフの方々、ボランティアの方々には本当に頭の下がる思いです。両院が共に手を取り合いこのような素晴らしい取り組みが今後も継続していけるといいですね。

1963(昭和38)年に始まった両院の物語は、これからも地域住民とともに紡がれていくでしょう。今後100周年を迎えるその時に向けて、お互いに補完しあう形で地域医療に貢献し続ける病院でありたいものです。



院内学級
ひかり

OnPal クリスマスコンサート



12月5日(木)、ピアノとチェロの生演奏にのせたきれいな歌声が病院に響き渡りました。クリスマスコンサートの開催です♪

最初に盛り上がったのは『あわてんぼうのサンタクロース』。赤い服に白い髭と本物さながらのサンタ(正体は院長という噂…)が、素敵なプレゼントを持って登場。サンタの置物(OnPalの方の手づくり)は一つひとつ表情が違い、「かわいい～」と子どもたちは大喜びです。チェロの演奏では『ホワイト・クリスマス』などゆったりとした曲に合わせて、真っ白な雪がふわふわと舞い降ります。雪の正体はプラスチック素材の切り絵(これもOnPalの方の手づくり)。幻想的な光景でした。

『きらきら星』では子どもたち数名がトーンチャイムに挑戦。この日に向けて練習を重ね、迎えた本番。子どもたちはやや緊張した面持ちでしたが…演奏は大成功!と



でもきれいな音色に包まれました。後半は流行曲『アナと雪の女王メドレー』『はいよろこんで』『Bling-Bang-Bang-Born』。ペットボトルマラカスやしゃもじを使って一緒に音を奏でたり、踊ったり、歌ったり。最後まで大盛り上がりでした。

「歌も楽器もとてもきれいな音色だった」「流行りの曲もあって楽しかった」など、早くも次回を待ち望む感想がたくさん寄せられています。OnPalのみなさん、ありがとうございます!

(精神保健福祉士 富丸千咲・長尾香奈)

中から見る風景

病院の中から見える風景を写真でパチリ。



渋柿の大変身
冬のカーテン
今年も良い一年になりますように

動向を探る

向陽台病院を利用されている患者さんの2024年9月から11月の動向を掲載しています。

| 集計月 | 2024年 9月 | 2024年 10月 | 2024年 11月 |
|-------------|-------------|--------------|--------------|
| 外来延数 | 2,399 | 2,743 | 2,455 |
| 新患者 | 44 | 48 | 29 |
| 1か月ごとの入院患者数 | | | |
| 入院 | 45 | 50 | 40 |
| 退院 | 34 | 43 | 44 |

編集後記

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。今年は巳年(みどし)=へび年です。巳(蛇)は豊穡や金運を司る神様として祀られていて、これまでの努力が実を結ぶ年だとも言われているんだとか…。

また、「脱皮する」「再生する」「成長する」と言う意味から蛇の脱皮した抜け殻を財布に大事にしまっている人を見かけたことはありませんか?今どき見たことも聞いたこともないって方が多いと思いますが、本物の蛇の抜け殻入りのお守りを販売しているお寺もあるそうです。旅の途中で見つけたら金運、幸運にあやかってみてはいかがでしょうか?へび嫌いな方にはこんな話で本当にすみません。今年も「こもれび」のご愛読お願いいたします。

(西島 健司)

私たちは「こもれび」とおして、皆さまに役立つ情報をお届けできればと作成しています。皆さまの率直なご意見をお聞かせください。(広報委員会)

診察のごあんない (2025年1月現在)

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|----------------------|---------------------|---------------|------------|----|
| 比江島 (13:30~17:00) | 比江島 (9:30~15:00) | 橋高 | 兼氏 | 田仲 |
| 伊藤 | 田仲 | 横田(晃) [隔週] | 宮崎 [隔週] | 武藤 |
| 白濱 | 森並 | | | 河崎 |

※担当医は予告なく変更になる場合がございます

祝日は外来をお休みします

- 診療科目：精神科・心療内科・児童精神科
- 病床数：198床
- 外来診療時間：月～金曜日 9時40分～16時
- 外来休診日：祝・土・日曜日

初めて受診される方へ

当院は予約制です。初めての方は、地域連携室へお電話ください。☎ 096-272-0908 (初診予約専用ダイヤル)

依存症治療の相談は、代表電話 (096-272-7211) へご連絡ください。

※地域連携室直通 (096-272-5250) は業務用となります。

電話の際、①お名前 ②相談内容 ③連絡先などをおうかがいし、予定の日時を決めます。

当日の所要時間は問診や診察、検査などを含め、2時間程度とお考えください。

病院理念

私たち向陽台病院は、地域医療のなかで安全で効果的な精神科医療を提供するために、職員の知恵を結集し、迅速かつ包容力のある対応ができる病院を目指します。

患者さんの権利

1. 良質な医療サービスを平等に受ける権利があります。
2. 人格・意思が尊重され、人間としての尊厳を守られる権利があります。
3. 自分自身の診療に関する情報の提供を受ける権利があります。
4. 医療従事者から説明を受けた後に、提案された診療計画などを自分で決定する権利があります。
また、他の医療機関の医師の意見(セカンド・オピニオン)を求める権利があります。
5. プライバシーを尊重される権利があります。

交通アクセス

🚌【産交バス】向坂バス停から徒歩3分 投刀塚バス停から徒歩3分

🚗【車】植木ICから15分 北熊本スマートICから10分

🚆【JR】植木駅下車 → タクシーで6分



医療法人横田会 向陽台病院

熊本県熊本市北区植木町鐙田1025 tel.096-272-7211



当院は「情報公開レベル優良施設」として、はとはあと評価(認定3/Stage-1)の第三者評価認定を受けています。



当院は、2005年から財団法人日本医療機能評価機構の認定を受け、2020年1月に3rdG:ver2.0で再認定されました。

- 日本精神神経学会専門医研修指定病院
- 日本精神科病院協会認定専門医研修病院
- 子どものこころ専門医研修施設
- 熊本県依存症専門医療機関
- 熊本県依存症治療拠点機関



上のQRコードをQRコード対応携帯で読み込むと向陽台病院サイトにアクセスできます。